

帯広にコールセンター開設

UME

ホームセキユリティネットワークサービスなどを手掛ける「UME(ユーエムイー)」（本社東京、内野雅和社長）は17日、帯広市大通南7に、全国の契約入居者のトラブルに24時間体制で対応する「帯広コールセンター」を開設した。

コールセンターは沖繩と東京に次いで3カ所目。トラブルなどライフサポート業務に関し、「業界初」（内野社長）というAI（人工

知能）と無料通信アプリ「LINE」を組み合わせた新システムを5月に本格始動する考え。これまで有人対



開設されたコールセンターと（左から）内野社長、田作センター長

応だった一部サービスをスマートフォンなどで自動対応する。事業拡大が見込まれることから新たな拠点を設けた。システム開発など事業費は約5000万円。

同社は2006年に設立し、インターネットサービスプロバイダー運営などを業務としており、資本金は約9300万円。09年に不動産コールセンター業務に参入し、ホームセキユリティサポートなどで全国の不動産業者70社約30万件の契約を持つ。

田作将基・帯広コールセンター長をはじめ、現地雇用や東京などからの応援社

員ら30人体制で臨む。内野社長は「新システムは業界では画期的。1年後には100人に増やし、数年後には契約数も100万件に乗せたい」としている。

（佐藤いづみ）